

平成29年度「事業評価・提案会」評価シート

担当部署	教育委員会	学校教育課	担当名	学校教育担当	事業No.	④
------	-------	-------	-----	--------	-------	---

リーディング・プロジェクト（※該当する場合）			都留市総合戦略（※該当する場合）		
プロジェクト名	プロジェクトⅢ	「教育首都つる」のさらなる発展	戦略名		
施策名	施策3	魅力ある教育環境の充実	施策名		

事業名	<b>教育研修センター事業</b>
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、都留市における教育の充実と振興を図るために、都留市教育研修センターを設置する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育関係職員の研修に関すること。</li> <li>・教育相談に関すること。</li> <li>・教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること。</li> <li>・教育に関する情報の収集、整理、保管及び活用に関すること。</li> <li>・児童、生徒の各種発表会及び作品展等の運営に関すること。</li> <li>・その他教育の充実と振興を図るための事業</li> </ul>
【Do】事業の実績取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親善音楽会の開催</li> <li>・演劇・音楽鑑賞会の開催</li> <li>・小学校3・4年生社会科見学の実施</li> <li>・発達相談、学習相談等の相談件数746件など</li> </ul>

【Check】課題	教育研修センター内には、「社会科副読本・資料作成委員会」、「情報教育研究委員会」、「環境教育研究委員会」、「学力向上検討委員会」、今年度はさらに、新学習指導要領に対応するため、「英語研究会」を立ち上げたが、教員の多忙化が言われる中で、どうしても教員に負担をかけてしまう。
【Check】平成28年度自己評価	必要性 A 必要性が高い
	有効性 A 有効性が高い
	効率性 B 効率性が認められる
	KPI達成率 B 概ね目標を達成している(達成率70%~100%未満)
	本市児童生徒の学力の定着、向上、また、教員の資質向上のための研修会や、問題を持つ児童生徒への支援など、本事業の必要性及び有効性は高いと思われる。

事業費(円)	平成28年度決算額		(平成29年度 予算額)		(平成29年度 決算見込額)
	4,040,054		7,074,000		7,074,000
H28財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					4,040,054
【Do】・【Plan】平成28年度事業費内訳(具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会及び講習会講師謝礼 42,300円</li> <li>・事務用消耗品費 85,178円</li> <li>・小学校演劇鑑賞会委託料 1,100,000円</li> <li>・社会科見学等バス借り上げ料 2,629,686円</li> <li>・教員県外研修補助金 182,890円</li> <li>・合計 4,040,054円</li> </ul>				

◎外部評価人評価・意見等	詳細の評価・意見・提案は、別紙「評価・提案内容」参照
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場教員の負担の少ない研修・事業への改善</li> <li>・教員・子供のニーズの把握</li> <li>・より効果的かつ効率的なような事業の取捨選択</li> <li>・教員養成の学生の意見を取り入れた研修の導入</li> <li>・問題を抱える子供が地域社会に溶け込めるよう、地域と教員とが連携できるような仕組み</li> </ul>

■KPI(重要業績評価指標) 【Plan】⇒【Do】

①KPI名称					
H30年度目標値	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-				
達成率	-			-	
②KPI名称					
H30年度目標値	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-			-	
達成率	-			-	
③KPI名称					
H30年度目標値	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-			-	
達成率	-			-	

【Action】改善策 今後の方向性	<p>教員の長時間勤務の改善が課題となっており、教職員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保することにより、その責務を果たし、事業の質を高めることで子どもの教育環境の充実を目的として、取り組みを進めていく。</p> <p>(具体的内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の研修、各種教育研究に際し、内容等について教員側のニーズに合っているかを意見を聞き、教職員の意欲向上につとめる。</li> <li>・教育という分野では、事業が増えることばかりであるが、定期的に検証をし、効率的な方法を模索し、現場の教員の負担を減らしていく。</li> <li>・教員の満足度をKPIで定め、見直しを進めていく。</li> </ul>
--------------------	---